

小池 新党

ズバリ安倍政権の 補完勢力です

小池百合子東京都知事は9月25日、都庁で記者会見し、予想される総選挙へ向けて新党「希望の党」を立ち上げ、自身が代表に就任すると発表しました。この党についてどう見たらよいのでしょうか。

9条^{含む}改憲を明言

小池氏は新党の政策の柱として「憲法改正」を盛り込むことを鮮明に打ち出しました。会見でも「憲法は議論を避けてはいけない」、「9条の一点に議論を絞ってはいけない」などと述べ、9条を含めた改憲路線の推進を明言しました。

戦争法推進者が中心に

新党の中心に座っている人は元自民党で、安保法制=戦争法にも共謀罪にも賛成してきた人です。民進党を離党した人も離党後に戦争法「容認」に転じました。

都政で公約は次々ほご

小池知事は都政で「食の安全、築地は守る」との公約を投げ捨て、豊洲移転を強行に推進しています。「情報公開」と言いながら、豊洲問題で知事への一問一答の質疑を求める要請に背をむけるなど、公約をことごとく反故(ほご)にしています。

安倍政権に厳しい批判が向けられる中、自公などが議席を減らし改憲発議に必要な「3分の2」の議席を割り込むことがあっても、新たな補完勢力として改憲推進の機動力となるのが小池新党ではないでしょうか。

対決構図は「安倍政権」VS「市民と野党の共同」 力をあわせて9条改憲を止めよう!!

安倍政権と対決できるのは、戦争法反対で、市民と一緒にたたかった野党共闘です。野党共闘は野党だけのものではなく、いわんや共産党と民進党のものだけではありません。市民が築いた国民の共有財産です。日本共産党は、野党共闘を成功させ、新しい政治をつくります。日本共産党を、大きく伸ばしてください。

東京
民報

ご意見・ご要望は 03-5972-1621、FAX 03-5972-1590
2017年9・10月号外 日本共産党東京都委員会の見解を紹介します。
発行/東京民報社(港区芝1-4-9 平和会館5階) 1965年11月12日第三種郵便物認可

日本共産党